

しんしゆく

伸縮リンクで『びよんキャッチ』

信州大学 教育学部 機械技術研究室

浦野真我・長谷川開・原和芳

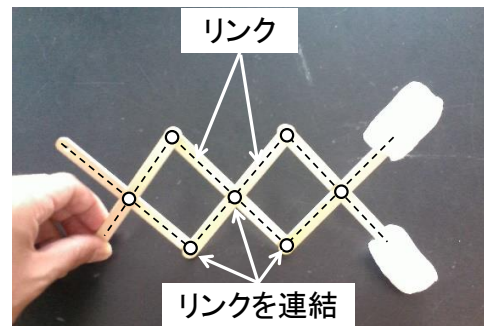
丸山恭平・川久保英樹(教員)

1. ねらい

リンク機構は、日常生活のいろいろなところで活用されており、細長い棒状の部品を組み合わせて作ります。機械の中に組み込むことで、一定の仕事をさせることができます。これを活用したものの例として、自動車のワイパー、ショベルカーなどの建設機械があります。今回はリンク機構の中から伸縮リンクという種類の機構を使って、ものをつかめる伸縮ハンド、その名も『びよんキャッチ』を作ってみましょう！

2. 用意するもの

- ・アイスの棒(4本以上)
- ・ボルト
- ・ナット
- ・緩衝材やスポンジ



伸縮リンク
(棒状の部品の組み合わせ)

3. 作り方

手順① アイスの棒にけがきします。

手順② けがきに合わせてボルトよりも少し大きめの穴をあけます。

(きりやハンドドリルでも大丈夫。大人の人に手伝ってもらおう！)

手順①



手順②



てじゅん
手順③ こんな風にあけられたら準備完了。

てじゅん
手順④ 交互に組み立てます。

てじゅん
手順③



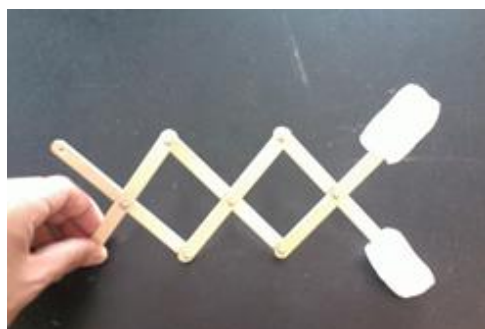
てじゅん
手順④



てじゅん
手順⑤ これをつなげて伸ばし、先端に緩衝材やスポンジを取り付けます。

てじゅん
手順⑥ 完成！！

てじゅん
手順⑤



てじゅん
手順⑥



ものがつかめるよ。試してみよう！

